



～ぎふの人間像～

高い志とグローバルな視野をもって夢に挑戦し、家庭・地域・職場で豊かな人間関係を築き、地域社会の一員として考え行動できる「地域社会人」

～岐阜県が求める教師像～

- ◎ 幅広い教養と高い専門性をもち、常に学び続ける教師（学び続ける向上心）
- ◎ 誰一人悲しい思いをさせない、愛情と使命感あふれる教師（高い倫理観・使命感）
- ◎ 指導方法を工夫し、児童生徒に確かな学力をつける教師（確かな専門性）

| | | スタートライン | 【基礎形成期】 | 【資質向上期】 | 【資質充実期】 | 【資質貢献期】 |
|-------|------------------|---|---|--|---|---|
| 学習指導 | 授業構想 | 特別支援教育及び教科に関する学習指導要領の内容、評価の観点・評価方法を理解し、それらを踏まえた指導計画を作成することができる。 | 意欲的に授業実践や学級・HR経営に取り組み、教職の基礎を固める。 | 実践を積み上げ、専門性を高め、学校の推進力となる。 | 活力ある学校運営を企画・調整・実践し、リーダーシップを発揮する。 | 学校管理や他の教員等への指導を行い、広い視野で組織的な運営を行う。 |
| | 授業実践 | | 幼児児童生徒の健康・障がいの状態、発達段階、興味・関心等の観点から、実態を的確に把握して個別の指導計画等を作成し、他の教員等から指導・助言を受けながら授業を計画することができる。 | 幼児児童生徒の健康・障がいの状態、発達段階、興味・関心等の観点から、実態を的確に把握して個別の指導計画等を作成し、それに沿った授業を計画することができる。 | 個別の指導計画等を作成する際に、関係機関の情報等の客観的観点を取り入れるとともに、他の教員等に指導・助言を行うことができる。 | 次期学習指導要領の改定等を踏まえた個別の指導計画等の作成が成されるように研修を行う等、校内体制を整備し、推進することができる。 |
| | 評価改善 | | 個別の指導計画等に基づいて、適切な教材・教具を活用する等、幼児児童生徒へ効果的な指導・援助を行うことができる。 | 個別の指導計画等に基づくと共に、活動時の状況に応じて指導方法・体制等を変更する等、他の教員等と協働して、幼児児童生徒への効果的な指導・援助を行うことができる。 | 幼児児童生徒の状態等に配慮して適切な指導・援助を行うとともに、他の教員等に指導・助言を行うことができる。 | 次期学習指導要領改訂等を踏まえた適切な指導・援助ができるように、校内の研究体制を整備し、推進することができる。 |
| 生徒指導 | 幼児・児童・生徒理解 | 幼児児童生徒とともに活動する楽しさや喜びを経験し、児童生徒理解の重要性について理解している。 | 観察、保護者との情報交換、他の教職員からの情報、過去の資料等から幼児児童生徒の実態を的確に把握することができる。 | 幼児児童生徒の実態や状況について、自らのもつ情報と周囲からの情報を合わせて分析し、多面的に把握することができる。 | 幼児児童生徒の多面的な把握と分析に必要な情報収集を行うとともに、他の教員等に指導・助言を行うことができる。 | 学校全体で幼児児童生徒の理解を深めるために、環境整備と組織づくりを推進することができる。 |
| | 生徒指導 | 教育相談、生徒指導、キャリア教育、人権教育等に関する基本的事項や指導・援助方法等について理解している。 | 幼児児童生徒の実態を踏まえて、一人ひとりのよさが発揮できるように指導・援助を行うことができる。 | 幼児児童生徒の発達段階や実態に合わせた指導・援助を行うことができる。 | 幼児児童生徒一人ひとりのよさの発揮と具現したい姿の実現のために、適切な指導・援助を行ったり保護者等と連携をはかったりすることともに、他の教員等に指導・助言を行うことができる。 | 幼児児童生徒への適切な指導・援助が行われるように、他の教員等や保護者・関係機関等との連携体制を整備し、推進することができる。 |
| | キャリア教育 | | 個別の教育支援計画等に基づき、社会自立を目指して、幼児児童生徒への指導・援助を行うことができる。 | 幼児児童生徒の実態やニーズに基づいた社会自立を目指し、個別の教育支援計画等を活用し、保護者、関係機関と連携し、他の教員等と協働して指導・援助を行うことができる。 | 幼児児童生徒一人ひとりのよさの発揮と具現したい姿の実現のために、適切な指導・援助を行ったり保護者等と連携をはかったりすることともに、他の教員等に指導・助言を行うことができる。 | 適切な個別の教育支援計画等の作成と改善がなされるように、他の教員等や保護者、関係機関等と連携できる組織づくりを推進することができる。 |
| 経営・分掌 | 学級(HR)学年・学部・学校経営 | 教員の職務内容や学校組織等について理解している。 | 個別の教育支援計画等を作成し、それに基づき、学級(HR)全体を見渡した年間指導計画等を作成し、計画に沿った学級経営を行うことができる。 | 学校・学部等全体を見通した年間指導計画等を作成し、他の教員等と協働して、学級(HR)・学年経営を行うことができる。 | 事故等の発生時や未然防止について、場面に応じて迅速に行動することができる。 | 特色ある学校経営を推進するために、校内の体制を整備し、「安全に安心して過ごせる環境」「自立に向けて個性を生かす体制」を整備し推進することができる。 |
| | 連携・協働 | 危機管理の重要性や組織マネジメントに関する基本的な事項等について理解している。 | 幼児児童生徒の健康・成長を常に念頭において、他の教員等や保護者等と協力し、迅速な報告連絡を心がけて業務を行うことができる。 | 幼児児童生徒の健康・成長を常に念頭において、他の教員等強みを生かす合える関係性を結び、保護者等と円滑な関係を保つことを意識しながら、業務を行うことができる。 | 幼児児童生徒へ、保護者等と協力・連携しつつ、チームとしての指導・援助にあたることともに、他の教員等に指導・助言を行うことができる。 | 自校の使命を達成するために、学校内外の関係機関等との連携体制を構築するとともに、校内の業務が円滑に遂行される体制を整える。 |
| | 危機管理 | | 幼児児童生徒の安全や個人情報の重要性を理解するとともに常に心がけ、「報告・連絡・相談」を大切にして適切に行動することができる。 | 事故等の発生時や未然防止について、場面に応じて迅速に行動することができる。 | 学校の危機管理について、周囲と連携し、迅速に対応することともに、より適切に対応できるよう、他の教員等に指導・助言を行うことができる。 | 事故等の未然防止や緊急時に、適切かつ迅速に対応する組織づくりについて、体制の整備と人材の育成を推進することができる。 |

【基礎形成期】

【資質向上期】

【資質充実期】

【資質貢献期】

・目の前の幼児児童生徒の実態把握や指導・援助の方法を、謙虚に学ぶ。



・学級(HR)・学年の幼児児童生徒に対する、チームでの適切な実態把握や指導・援助の方法を自ら学び、チームに伝える。

・自分が得意とする分野の知識・技能を深めつつ、校内の教員等への有効的な伝え方を工夫する。

・自分が深めてきている知識・技能、学びの手段等を、学校内外の多くの人に対して伝え、役立てる。

教員が成長し続けるために大切な姿